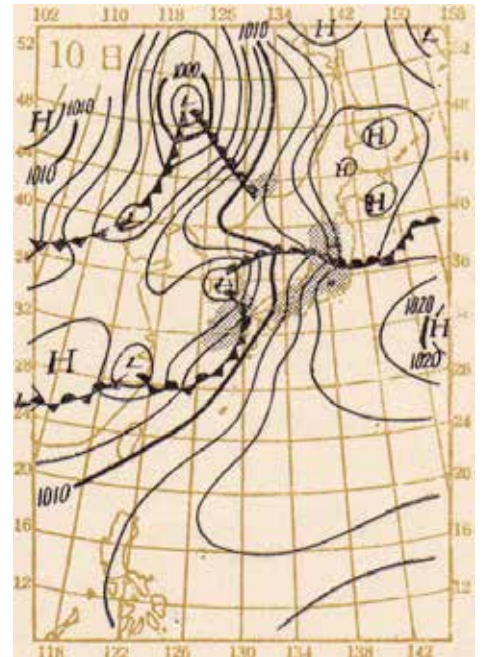




佐波川筋 出雲村地内



天気図(7月10日9時)



佐波郡右田村



萩市 橋本橋



下関市吉見町福江

気象の概要	■ 7月8日、低気圧が東に進むにしたがって梅雨前線も北上し、9日午後、梅雨前線が防府市を通過した。この頃から豪雨となり、10日早朝、寒冷前線の通過で再び豪雨となり、7日から17日までの降水量は400~700mm に達した。				
	総降水量(mm)	536.4 (下関)	日降水量(mm)	136.8 (下関)	1時間降水量(mm)
被災場所	県中部、西部				
被害の規模	(人的被害)死者28人、行方不明者1人、重傷者33人、軽傷者395人 (住家被害)全壊362棟、半壊1,058棟、流失173棟、床上浸水4,467棟、床下浸水18,188棟 (その他被害)道路損壊614ヶ所、橋りょう流失219ヶ所、堤防決壊420ヶ所、田畑流失埋没1,969町、田畑冠水13,301町 など <被害額総計>約 128 億円				
被害の特徴	■ 佐波川では戦後最大の洪水となり、死者11人、家屋破損1,083戸、家屋浸水3,397戸、冠水面積1,388ha、堤防決壊が17ヶ所におよび、防府市街地を除くほとんどの低地部に氾濫がおよんだ。 ■ この災害により佐波川流域における治水への関心が高まり、佐波川の改修や堤防の改良、佐波川ダムの整備が進められた。				



つ ゆ まっ き しゅうちゅうごうう さ ば が わ こうずい
 梅雨末期の集中豪雨により、佐波川で洪水が発生したんだ。
 低気圧や台風、前線などによって積乱雲が同じ場所で次々と発生・発達を繰り返すときに、集中豪雨が発生するおそれがあるんだよ。

関係する石碑



ほうふしわじには、さばがわ こうずい さいこうすい しめ せきひ
防府市和字には、佐波川の洪水の最高水位を示した石碑があるよ。

【佐波川大洪水最高水位碑】

昭和 26 年7月、梅雨末期特有の集中豪雨により佐波川の堤防が決壊し、周辺地区の家屋が全壊するなど甚大な災害が発生した。

防府市和字には佐波川大洪水の最高水位を示した石碑が建立された。



佐波川大洪水最高水位碑(防府市和字)

トピックス

高潮

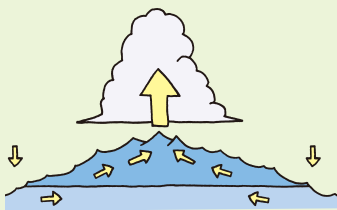


台風などによって気圧が下がると、海面が持ち上げられ（吸い上げ効果）、また強風が沖から海岸に向かって吹くことで海水が海岸に吹き寄せられ（吹き寄せ効果）海岸付近の海面上昇が起こるんだ。これらによって発生する海面上昇を「高潮」と呼ぶんだよ。

【吸い上げ効果】

台風や低気圧の中心が接近して気圧が下がると海面を吸い上げるように作用する。外洋では気圧が1hPa下がると海面は約1cm上昇するとされている。

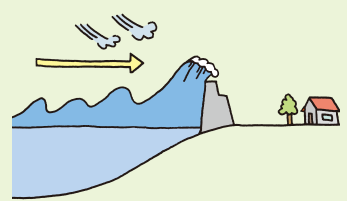
気圧低下による海面の吸い上げ



【吹き寄せ効果】

強風が沖から海岸に向かって吹き続けると、海水が海岸に吹き寄せられて海面が上昇する。風速が2倍になると、吹き寄せによる海面上昇は4倍になる。

風による海水の吹き寄せ



山口県南方の周防灘は瀬戸内海で最も広い海域で、その沿岸は入り江や湾形の多い南向きの海岸であるため、高潮の影響を受けやすくなっている。また、周防灘西部では、吹き寄せられた海水が関門海峡にせき止められ、高潮・高波の影響が大きくなる。

